

Driveman® 保証書 GP-1 / GP-T1

お買い上げの日から1年間、故障が発生した場合には販売店サービス窓口または弊社ドライブマン事業部に修理をお申し付けください。無料で修理または、弊社判断により製品交換をさせていただく場合がありますので、あらかじめご承知ください。
保証期間内であっても以下の場合には有料とさせていただきます。

- この保証書の添付が無い場合。
- 保証書に販売店名、お客様の名前、保証開始の日付記載が無い場合。
- (2)の記載内容が書き換えてある場合。
- 使用上の誤り、改造、修理などのあとが見受けられる場合。
- 落下、水没、取付場所の移動などが原因とする故障の場合。
- 天災、地震、風水害、落雷、その他の自然災害、第三者による行為での故障及び破損。
- 車両搭載用ドライブレコーダー以外の用途に使用した場合。
- 部品の消耗や磨耗が原因の故障の場合。
- お客様の要望による出張修理を行う場合の出張料金。
- 業務用使用の場合。
- 接続している他の機器及び不適切な使用に起因して生じた故障及び破損。

この保証書は日本国内においてのみ有効です。
この保証書は再発行致しません。
製品保証はドライブマンに限定されます。記録媒体の映像記録やメモリーなどが使用中、あるいは使用後、何らかの事情でその記録内容が消去、破壊された場合には弊社にはその責任を一切負うものではありません。弊社の責任と保証は製品を限度とします。
本製品は事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品です。完全な証拠として効力を保証する物ではありません。本製品の故障又は使用により生ずる損害及び付随的損害については弊社は一切責任を負いません。

見本

ドライブマン事業部 アサヒサリサーチ株式会社
〒141-0031 東京都品川区西五反田8-3-13
弊社ホームページ <http://www.driveman.jp> support@driveman.jp

(キリトリ線)

安全のための注意事項

ここに示す注意事項は、いずれも安全に関する大切な内容ですから、必ず守ってください。

❌ してはいけない内容

- 電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
- ディスプレイには、絶対に衝撃を加えないでください。衝撃を加えるとパネルが割れ、火災、感電、けがの原因となります。
- 電源ケーブルを抜く時は、プラグやコネクタを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルに傷がつき発熱、火災、けが、感電の原因となる恐れがあります。
- 本製品が水、薬品、液体によって濡れた場合は使用しないでください。ショートによる火災、感電の恐れがあります。
- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、動作不良などの原因となります。また、お客様による分解、改造をした結果発生した故障等については、保証期間内であっても有償修理となります。
- 本製品を濡れた手で扱わないでください。特に電源ケーブルを濡れた手で触れると、感電や故障の原因となる恐れがありますので、ご注意ください。
- 安全のため運転中に操作をしないでください。運転中の操作は事故につながる恐れがあります。必ず停車後に操作して下さい。

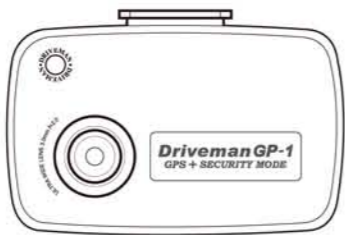
⚠ 必ず実行する内容

- 電源ケーブルのUSBプラグは、確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
- 本製品は、所定の位置に正しく取り付けただ上でご使用下さい。誤った取り付けをされると、製品が正しく動作しないだけでなく、運転の支障となったり、運転中に製品が落下する可能性がありますので大変危険です。
- 電源ケーブルはDC12VまたはDC24Vのアクセサリ端子に接続してください。
- 煙が出たり、異臭がしたら、すぐに安全な場所でエンジンを切ってエンジンキーを抜いた状態で、電源ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の恐れがあります。

ドライブレコーダー



取扱説明書 (保証書付き)



このたびはドライブマンGP-1/GP-T1をお求めいただき、ありがとうございます。この取扱説明書に記載の「安全のための注意事項」をお読みください。取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しく使用してください。保証書は、大切に保管してください。

Copyright © 2016 ASAHI RESEARCH CORPORATION. All Rights Reserved.

1-0023-04

1. 梱包品のご確認

スタンダードセット				
本体	3芯車載用電源ケーブル (DCDC4)	取付ブラケット	SDHC (Class10以上)	取扱説明書 保証書 1冊

フルセット						
本体	3芯車載用電源ケーブル (DCDC4)	取付ブラケット	HDMI ケーブル	AC アダプタ	SDHC (Class10以上)	取扱説明書 保証書 1冊

オプション						
シガーソケットアダプタ	2芯車載用電源ケーブル	AVケーブル	吸盤ブラケット	HDMI ケーブル	AC アダプタ	PLフィルター

2. 本体取付、取外しについてのご注意

- 運転中の視野の障害にならない位置
- フロントガラス上部20%の範囲に貼り付けて下さい。
- 室内ミラーを方向調整しても接触しない位置
- ワイパーで水滴が拭き取れる位置
- ブラケットとブラケット取付部は挿入後、両端が均等差し込んで下さい。
- ブラケットから本体を外す場合は電源ケーブルを抜いてから横にスライドさせて外して下さい。

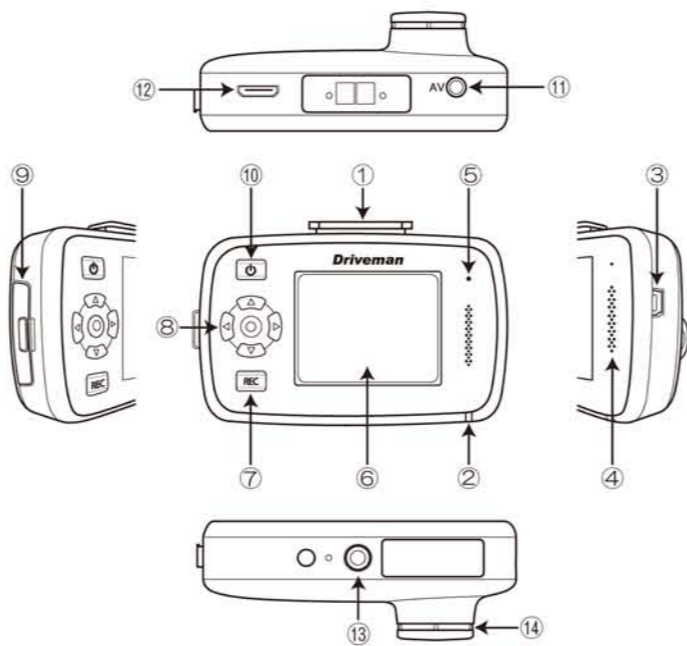
- 注1) ブラケットの両面テープは、本来の接着力が出るまでには一日ほどかかりますので、それまではあまり大きな力をかけないでください。
注2) 取付作業中やご使用中レンズに触れないで下さい。

※パッケージに左記のものがすべて揃っているかご確認ください。
※本体以外はオプションでお買い求めいただけます。
※SDHC / SDXCカードは、メーカー等により使用できないものもあります。
※シガーソケットアダプタ、2芯車載電源ケーブルもご使用できますが、ドライブモード専用です。セキュリティーモードにはなりません。
※SDHCカードはClass10以上のものをご使用下さい
※シガーソケットアダプタ、2芯車載用電源ケーブル、AVケーブル、吸盤ブラケット、PLフィルターは別売になります。
※PLフィルター：フロントガラスへの映り込み（反射光）を減少する事が出来ます。
※高温注意：直射日光に当たる場所や室内温度が高くなる場所では本体の金属部分（三脚穴など）も高温になります。火傷の原因になる場合がありますので温度が下がったのを確認してから扱うようにしてください。
※GP-T1にはシガーソケットアダプタはご使用できません。
※GP-T1にはACアダプタ、HDMIケーブルは同梱されていません。

※SDHC / SDXC カードのご使用について
ドライブレコーダーで使用するSDカードは、デジタルカメラ等と異なり過酷な環境（常時書き込み、温度変化）で使用しています。SDカードは消耗品ですので、毎日乗車（撮影）する場合約1年ぐらいを目安に買換えることをお勧めします。
半年に1回は本体でフォーマットすることをお勧めします。



3. 各部名称



- | | |
|------------------------|-------------------------|
| ① ブラケット取付部 | ⑦ RECボタン (録画の任意停止/開始) |
| ② LEDランプ (赤：録画中、緑：待機中) | ⑧ 十字ボタン |
| ③ 電源ケーブル接続部 (ミニUSB) | ⑨ SDHC カードスロット / 蓋 |
| ④ スピーカー | ⑩ 電源ボタン |
| ⑤ マイク | ⑪ AV 出力端子 (3.5φ ミニジャック) |
| ⑥ 画面 (LCD) | ⑫ ミニHDMI 端子 |
| | ⑬ 三脚ネジ穴 |
| | ⑭ PLフィルター用溝 |

4. ケーブル接続

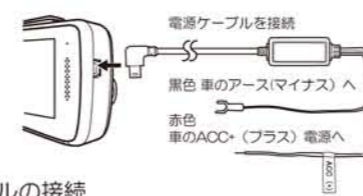
●3 芯車載用電源ケーブル (DCDC4) の接続
(バッテリー保護回路付電源ケーブル)
本体に3 芯車載用電源ケーブルを差し込んで下さい。ヒューズボックスなどの安定した電力の取れるターミナルに接続して下さい。
注) オーディオ等の背面から電源を取らないで下さい。



3芯車載用電源ケーブルを配線し、初めて取り付けした場合や、再度取付けた場合は、エンジンONで録画、OFFにしてセキュリティーモードになるかを確認してください。

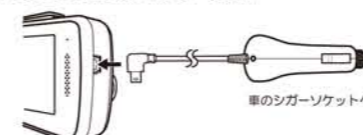
※バッテリー保護回路付電源機能はセキュリティーモード時（駐車中録画時）に一定電圧までバッテリーが低下すると自動で電源供給を停止します。

●2 芯車載用電源ケーブルをご使用の場合、セキュリティーモードにはなりません。(ドライブモード専用)



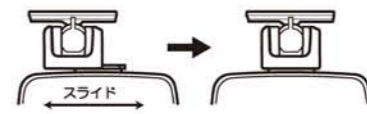
●シガーソケットアダプターケーブルの接続
車のシガーソケットにシガーソケットアダプタを差し込んで下さい。

注) シガーソケットアダプタをご使用の場合、セキュリティーモードにはなりません。(ドライブモード専用)



5. ブラケットへの取付、取り外し方

ブラケットを左右どちらかにスライドさせると取り外しが出来ます。前後180度の回転に加えて左右30度、傾き30度の方向に調整が出来ます。



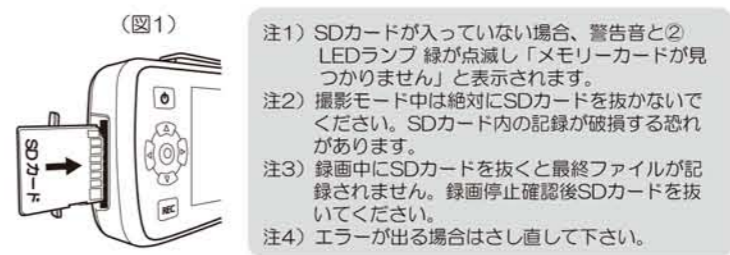
※ブラケットを無理に傾けると破損する場合がありますのでご注意ください。
※ブラケットの角度調整がゆるくなった場合はビスを締め付けて下さい。

両面テープの保護シートを剥がします。フロントガラスに貼り付ける際は、よくガラス面の汚れ（油など）を拭き取って下さい。



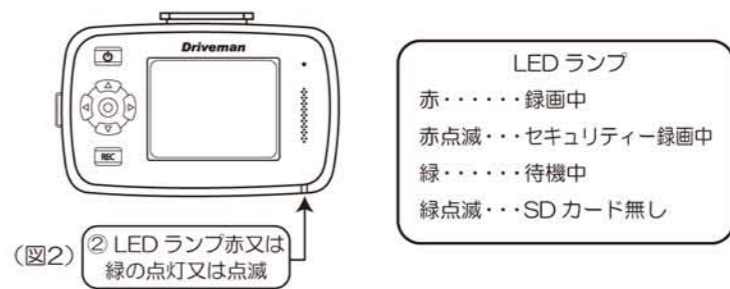
6. 操作方法

1.蓋を開け、SDカードを入れて下さい。(図1)



- 注1) SDカードが入っていない場合、警告音と② LEDランプ 緑が点滅し「メモリーカードが見つかりません」と表示されます。
注2) 撮影モード中は絶対にSDカードを抜かないでください。SDカード内の記録が破損する恐れがあります。
注3) 録画中にSDカードを抜くと最終ファイルが記録されません。録画停止確認後SDカードを抜いてください。
注4) エラーが出る場合はさし直して下さい。

2.エンジン始動で録画が開始され② LEDランプの赤が点灯します。(図2) エンジン停止で録画が停止し② LEDランプの赤が消灯します。



LED ランプ
赤・・・録画中
赤点滅・・・セキュリティー録画中
緑・・・待機中
緑点滅・・・SD カード無し

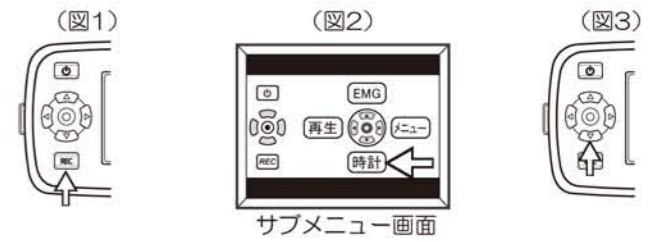
3.録画を停止するには、⑦ RECボタンを押します。(図3) 再度録画を開始するにはもう一度⑦ RECボタンを押して下さい。



7. 時計設定

GPSが内蔵されていますので、日時情報が自動で補正されます。
※GPSの受信環境により受信しにくい場合があります。
GPS 信号受信時には、画面右下に「GPS」のアイコンが表示されます。
GPS 信号が受信出来ない場合には以下の手順で設定して下さい。

- 電源ケーブルを本体に差し電源を入れます。
- 録画が始まりますので、⑦ RECボタンを押して録画を止めます。(図1)
- サブメニュー画面が表示されますので、⑧十字ボタンの下ボタン(時計)を押します。(図2) (図3)



- 西暦日時が表示されますので、上下ボタンで合わせたい日付に合わせ、⑧十字ボタン右を押すとカーソルが次に移ります。(図4)
- 西暦日時をすべり合わせましたら、⑦ RECボタンを押すと決定します。

8. 解像度設定

- サブメニュー画面から、⑧十字ボタンの右ボタン(メニュー)を押します。
- メニュー画面(図2)が表示されますので、解像度にカーソルを合わせ、⑧十字ボタン中央を押します。
- 「解像度とフレームレート」の選択画面が表示されますので、ご希望の設定を上下で選んで⑧十字ボタン中央を押して決定します。

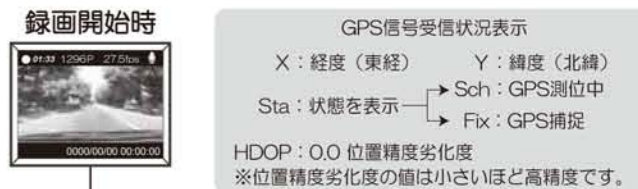
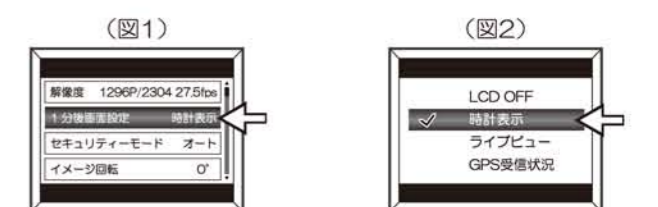


	解像度とフレームレート
LED 信号機対応	1296P / 2304 27.5fps
	1080P / 1920 45fps
	1080P / 1920 27.5fps
	720P / 1280 60fps
非対応	720P / 1280 30fps
	720P / 1280 7.5fps

9. 1分後画面設定

録画中、Driveman本体の画面 (LCD) 表示を切り替えることが出来ます。

- メニュー画面から、1分後画面設定にカーソルを合わせ、⑧十字ボタン中央を押します。(図1)
- 「LCD OFF」「時計表示」「ライブビュー」「GPS受信状況」の選択画面が表示されますので、ご希望の設定を上下で選んで⑧十字ボタン中央を押して決定します。



1分後自動で切り替わります

